

---

# なのはの世界で武力介入

睡眠欲

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

なのはの世界で武力介入

### 【Zマーク】

Z8288W

### 【作者名】

睡眠欲

### 【あらすじ】

いつの間にか寝てたら死んで何故か転生させられました

主人公は人間をやめています

あ～これからどうしよう。やりたいことやつていいの？

イオリア計画をしてみよっかな！？

地球外変異性金属体や悪魔細胞による武力介入（前書き）

あらすじと同じだよ～ん

プロローグ

あれ～なんか不思議空間が広がっている～

俺の名前は高ノ宮 巧、ガンオタだ。

まあ容姿は中の下つてところか。（本人はそう思つてゐるが実際中の上、

上の下つてところ）

確か俺は青鬼やつて寝てしまつた筈、なんか勝手に死んだから残つた家族、父、母、弟、妹よ、ごめん。

もう死んじやつたから意味無いかもしないけど今更だが、ここは夢の中か？

「つてなんじや こりや ああああ

目の前に青鬼がいる・・いやだ、助けてくれ、おれはこの年で死ぬのか、せめて死ぬならマシな死に方したかった。化け物に食われて死ぬとか勘弁してくれ

あ、「一ラと同じセリフを言つてしまつた・・。なんか生き残りそうな気が！

「あ、気が付いた。どうも神様（笑）でーす」

・・・・・青鬼が神様あ？ それないわ～全国にいる青鬼ファンに

謝れ！

「ここにきて最初の言葉がそれ！？ないわ～」

「いやいやいきなり目の前に神様名乗る青鬼のほうがないわ！」

「落ち着いたみたいだね」はあ、なにこれ。珍百景だとおもわない？

青鬼と人が会話してゐる風景、登録なるか？ なるな。

てかここど「ここは生と死の狭間、三途の川みたいな所」

あれ～いつ死んだっけ・・・あ、確かに上からピアノが降つてきた夢見て

潰されたんだでも何故に夢の中？

「僕のミスです」

ふざけんなああ！何軽く命うばつてんのぉおおおお……！

「じめんなさ～い。確かに君は死にました。しかし転生させてあげます。能力もつけるよ。転生先はこっちが選ぶけど」

「転生しなければどうなるんだよ（呆れ）」

「僕が君を食べる」

「もう死んでるからアラビックことないか」

「じゃあ、転生しようか。にしても君はおもしろいねえこの状況で普通に話せるのは」

「はあ、もういいです。なら自分の体をELISHとDGG細胞でつくり下さい。次に触れたものを完全に自分の体で「ペリーできるようにして下さー」。それに加えてガンダムの世界に（時間も決められる）行き来できる能力を下さい。最後にマイケルジャクソンのダンス、声を完璧に真似できるようにして下さい」

「順応能力高いねえ～てかマイケルって（笑）それだけでいいの？もつとたのめるよ？」

「いいじゃないですか、それに人の趣味笑わないでください。」

「まあいいか。んじや転生さきはつと」

神様が箱の中から一枚の紙を取り出した・・・いい世界でありますように

「リリカルなのはアラビック！」・・・

「え、なのは？ やることき～めた。」

「なにすんの？」

「イオリア計画を実行する！」

「ほんじやがんばれ～まあできなくてもできてもどっちでもいいけど」

「は、いきな～」あれ、世界が上に上がつて・・・「俺が落ちてんだあ！」

「よい人生を～「ふざけんなあああ～～！」

そして俺は落ちてつた。

## 地球外変異性金属体や悪魔細胞による武力介入（後書き）

初投稿、、頑張った方かな？

今後ペースを決めて投稿していきますーー！

## え、これは・・・何処？（前書き）

作「え」どうも睡眠欲です巧の設定忘れてました。いま書きます「  
巧18歳、学力は中の上。容姿は黒い髪のリジエネレジエッタ、そ  
のおかげで、ダチに

振り回され、色々なサークルに振り回されるその影響でなのは、ガ  
ンダム等のオタクになる。一人称は俺。主人公機よりも悪役の方が  
好みと少し変わっている。

「」は念話、「」は会話、何も無しが思つたことという使い分けです  
作巧「」といふことでののはの世界で武力介入、始まります（^o^）  
「」

え、ここは・・・何処？

現在俺は何処にいると言つと木星の近くだ。現在の姿は円錐状のELSだ。

何故に木星？俺は今猛烈に抗議したい！地球までいくのに1週間かかるじやない力！

「あ、ついた」？やつぱELSと言つたら木星だよね。そこ辺りじや衛星に宇宙人と勘違いさせて混乱するからアステロイドベルトでガンダムの世界にいってね～」

あ～メンド、神くせつかくELSに成つたんだからELSらしく移動したら？」

ELSらしく？・・・（ - - - ）量子ワープをすれば

「君の体ワープできるほど大きくないからね」

ふざけんな～！徒步？で行けと？まあ1週間で地球に着くからまあいいか。

にしてもいまは原作のどこ辺り？

「淫獸となのはが会う2か月前だよ」

サンキュー、ンじや行つてきま～す

「いってら～」

現在はアステロイドベルト、ついたあああ￥（^○^）いや～長かった。一人ぼっちで宇宙漂流、気が狂うかと思つたわ！～とりあえず目的地に着いたからまずは何処の世界に行こうかな～よし、〇〇でELS決戦後に決めた

さてどんじや行きますか。

突然めまいがする、あれ、今俺日あんのか？と考えつつ俺の意識は

薄れていった。

気が付くとそこには巨大の花がある……ああ、これがE.L.S.。いや  
いいもんみたわ

おお、俺の体の中に知識が流れ込んでくる。

お、ガデラーザはっけん。ファングが154基つてチート以外の  
何物でもないだろWWW

ダブルオークアンタもあつた……ほうほう、これが量子ワープか、  
便利だ。

GNバスターードにGNキヤノンもみつけ！　こりやあお得だ  
あ！！！奥さん、このチャンスを逃がすのは惜しいですよ……と思  
いつつ俺はヴェーダへ向かう。

やっぱサブターミナルはずいねえこれが外宇宙航行母艦……巨  
大宇宙要塞だろ！！！

これだけで地球に喧嘩ふつかけられるわ……とりあえず知識収集  
収集してて思うんだけど、イオリア爺さんどんだけチート…？  
の人、転生オリ主じやねえの…？てかイオリア、ギレンやテム・  
レイよりも天才だろ！

お、収集完了。んじや帰りますか。

そして俺の意識は同じように薄れていった…

あれ、俺つて向気に改善点多くね？（前書き）

ありがとうございました意見がもらえたので改善していきます  
まあ日本形式はやめ、あまりチートではなくなりました

あれ、俺つて何気に改善点多くね？

帰つてきましたこの世界！

現在のステータスは〇〇の知識大体くらい。

この先何があるか分からないのでとりあえず闘いといえばGガン！  
時期は第13ガンダムファイト開始時点に、つうわけで行つてきます。

現在の場所・・・ここ何処？辺り一面草原ですねえ。

重要なのは現在の自分の状況！！！今自分は転がつていて止まれない！！そして止まつても立てない！

あれ、宇宙は楽だったのになあ。

あはは、目の前に風車があるよ、なんかすげえ変。一つだけしかないしじドアがない。

ん、これはなんだろねえ、とりあえず収集開始！

へー変形機能があるんだあ、羽に拡散ビーム砲があ。べんりだな・・・

何で風車に拡散ビーム砲？！なにこれ！？あ、そういうえばさつき変形機能があつた筈・・・

こ、こ、これは、ネーデルガンダムかああ！！！

＜説明しよう！ネーデルガンダムとは、胸に巨大な風車をそろびし、胸部の羽を回し猛烈な竜巻を発生させるのが必殺技のMFだ。決勝トーナメントまでの11か月を腕部・脚部を収納し、顔を隠した風車モードでやり過ごした実力はあまりないMFだ！ちなみにデビルガンダムとの最終決戦ではネオオランダコロニーからネーデルガンダムMK-2からMK-40が発進し、ネーデルガンダム部隊を形成した。＞

ん、説明じくろ・今の誰？！？！

くおいおい自分が取り込んだもの？を忘れたのかいヤレヤレヽ(：ヽ

――）「

いやいや俺人取り込んでねーし、だいたい記憶がノヽヒント君の前  
世のそつくりさんだよ

・・・リジュネ？ヽ正解！

いつのまヽヽ君がヴェーダを収集していくとき勝手にのつこんだん  
だ

何勝手に乗り込んでんのあおおー！んな事したらティエリアが探し  
にヽバツクアップを残してあるよ

用意周到なこつて、まあ取り込もうと思つてたしまあいいか  
くじや、よろしく頼むよヽ(：ヽちらヽヽ。 ジゃあ帰ろつヽ・・・

この世界にきた意味なさずに帰ろうとしてたよ俺！

この世界にきた意味は現在の俺がどこまで通じるかの確認だ

ヽ重力に負けてる時点で世界最弱じやない？

ああ、そう、だな・・・帰るか・・・

ヽまあまあ、がんばろつよ

ああ、俺頑張るわ・・・

「とつあえず元の世界へ」

そして俺の意識はアステロイドベルトへ・・・

あれ、俺つて向気に改善点多へね？（後書き）

俺TUEEEEEDEEになりかけてたのであわてて修正しました  
他にも欠点はあるのである意味、転生者の中では+ - 〇といったと  
こでしようか  
まあそんな時のリジエネもーん  
次話は今週中に出します  
それでわあでゅう

今気が付いたんだ！

巧じゃアリシアは生き返らないって事を！

あ、他の転生者に協力という名の支配をすればいいんだ（笑）！

「フフフ、今後の展開、えぐい感じになりそうだね」

おお、リジエネ来てたんだ！

「え、今頃かい？！」

うん♪！

「酷つ！」

おお、巧もか！

「もういいわ！話進めて」

へいへい、まあ今後の展開としては使える者はどんどん利用するね

「結構えぐいな、考えてる事」

フハハハハ！貧乏性とでも呼んでくれ！

「「はあ・・・」あ、それと side 方式も採用するね！

「「「といふことではこの世界に武力介入、始まりますー」」

ん～これがひじょう

side巧

さて、これからどうじよひ。

他に転生者がいるかもしないからE-Uがやつたように自分の一部を送り込むか

くなんか地球侵略してそつな会話だねえ

ある意味俺らの収集は侵略だろ。

く確かに侵略して知識を得てるよね

その通りだな、ん～リジュネ？

くなんだい？

俺重過ぎるからさ、体を半分にしてその片方にリジュネの意識移して地球に行つてくんない？

くその方がいいかもね、現在の状況を確認したいし、そうじよひんじや今から体分けるよ・・・

自分でやるの怖いからリジュネがやつてくんない？

く仕方がないね。わかつたじやあ始めるよ

サンキュー（^ ^）

くよし出来た！

早つーーお、完璧にリジュネだほんじや行つてらあ

くちゃんと知識集めとつてよ

了解（^ ^）

く行つてくるよ

といつてリジュネは量子ワープで地球に向かつていった。それで、これが「ひじょう」の世界に行こうかなあ～

sideリジュネ

お、やつと僕の出番かい？

んじゃ あまず戸籍を作らないと  
日本よりも進級式のアメリカにしよう。  
この精神年齢で小学校からやり直しするなら  
大学に直接入った方が早い。

さてと、まあ理工系の学校にしようかな。  
(注) 現在リジエネの体は小2位です

## ～これからがんばっていこう（後書き）

この話の路線がきまりました！  
これからガンガン更新しようかなと思つています  
まよろしくお願ひします

地球よ、私は帰ってきたああ！

SIDEリジエ

現在13時半、昼過ぎといったところだね

今なにをしてるのかつて？今入学のための設計図を見せる約束の中だ。

イオリアがヴェーダを作りあげるまでに描いた設計図の内の1つを見せてるんだけど教授はポカンとした顔をして設計図を見る。今見せてるのはさっき説明した中で最初期に描かれた物なんだけど、この時代の科学技術舐めすぎたかなあ・・・

SIDE教授

なんなんだこの設計図を持ってきた子は・・・

「IJの設計図、君が描いたのかい？」

「ええ、そうですけど」

・・・この設計図通りに製作したら今のコンピューターなんて比じやない。

この子にはぜひとも大学へ入ってほしい。

将来この子がどう化けるか楽しみだ！

SIDEリジエ

教授が顔を真剣にし始めた。大学入れるかな？

「教授、僕の設計図。いかがですか？」

「凄すぎるの一言に尽きる。生徒としてより私の助手になつて君から私は色々学びたいのだがそれでもいいかい？」

「奇妙な関係ですがわかりました」

SIDE巧

お、リジエネは上手く大学に入れたみたいだ。

なら俺も仕事しなくちゃね。何処の世界にいこうかな。

別に考えているはないしなあ・・・・・

あ、そういうばもしELSとかの能力が意味無かつた時に備えてマ○ケルの声やらなんやらを完璧にしたんだつけ。

今確認しようにも宇宙で踊るのは気が引けるしなあ。

あ、隕石を取り込んでその中で踊ればいいじやん。

よし、次にどんなステージにしようかな？

ギミックなら・・This is itだな。

確かサイズは縦25? × 横50? × 高さ18?か。

お、手ごろなのみつけ。

後はELS、君に任せた！

おお、中に入るとステージが出来てる・・・」これはいけるな。

なら曲は最初の曲だから「Wanna Be superstar  
Sometime」だな

♪ダンス中♪

「動きがマイケルになつてゐる。」

「ヒーハアアー！」

ただ今主人公が暴走中です。しばらくお待ちください♪(――)

m <

♪ダンス終了♪

「ハアアアアーウ！」

「ハアアアアーウ！」

「いや～この能力だけでも十分な気がしてきた。ああ、力・イ・力・  
ン！～あ、何一つ仕事してない（汗）」  
<こつちは寝てゐるのに脳量子波がダダ漏れだよ。静かにして>  
<あ、ごめん。今そつちは夜か。お休み～>  
<お休み～>

地球よ、私は帰ってきたああ！（後書き）

これからも頑張つぞ！

あ～現在は戦力の増加中だ。

今リボンズ、トリニティ達の機体を再現するデバイスの様な物と体を製作中だ。

まだデバイスの原理すらわかつてないからデータしか作つてない。いつの間にリボンズ、トリニティ達？と思う方挙手！

答えは、ヴェーダをELSで作つたら中の“データ”と造つてたWWW

意識だけは何もできないので体を作つている。

ヴェーダの中でリボンズ、トリニティ達はタイマンでフォンスパーク（データ）と戦つている。

あ、ヒーリングが落ちた・・・

なぜそんな事をしてるのか。なぜなら原作でイノベイド達は、ヴェーダのバッカアップが無くなつたのが

原因で敗れたので実際？に経験を積んでもらつてゐる。

今の戦力は

ソレスター・ビーニング号が1つ・・・終了！ちなみにオリジナルの太陽炉は5つ製作しこれに積んだ。

また、戦闘にはすべて疑似太陽炉を使う。しかしエネルギーが有限なのでミノフスキ・イヨネスコ型核反応炉を搭載する。だが粒子の色はオレンジではなく紫だ。ELSが取り込んだからねでもオリジナルはれつきとした緑色さ。

それはさておき、これは何処から持つてきたかというと近くにあつた丁度いい大きさの隕石を2つくつ付けて製作。イメージはア・バオア・クーの指令室がある隕石にリングが付いてるとでも思つて。

無論これだけでは無理なのでさつき説明したりボ・トリたちの機体に加え、

プトレマイオス?改、エウクレイデス?、トリーティ艦をそれぞれ×1、

リジェネ専用機、巧専用機×1 ちなみにエウクレイデス?とは、ヴェーダのメインター・ミナルを積み武装を強化している。これが介入チーム。

次にアロウズチーム

バイカル級宇宙巡洋艦 × 20

ナイル級大型宇宙戦艦 × 4

ジンクス? 指揮官機 × 40

ジンクス? × 200

ジンクス? × 1000

ガデラーザ × 4

最後にソレビチーム

セム × 1600

GNキヤノン × 400

GNタンク × 400

バイカル級 × 400

1小隊はセム × 4 + GNキヤノン × 1 + GNタンク × 1で構成する。母艦はバイカル級にし、1隻につき2小隊搭載可能。

これら全てが最終生産予定数だ。

考えとしてはソレビの戦力は、介入チーム(ガンダム系で構成され

たもの）・アロウズチーム・ソレビチーム（セムなどで構成されたもの）の3タイプで構成する。

ちなみにいすれは、MS・MAはデバイスとして、艦艇は次元航行艦として建造する。

今アステロイドベルトの隕石をかたっぱしからELSに変えて造っている。

ジンクス？は汎用性が高く、安いから一般隊員用にする。

？は小隊長用にし、？×1と？×5で一小隊とし、小隊×5+ジンクス？指揮官機×1で中隊とする。

中隊×2で大隊、大隊×2で一個師団として

自分で生産予定表を組んでなんだが、過剰戦力な気がする。GN-X1機＝ガンダム1機分。

単純計算でガンダム×1265機だが、？と？はスローネの機能をハードポイントで換装することができるので、もつと柔軟な運用ができるようになっている。我ながら造らせておいて恐ろしいな。

？はそれに加えGNフィールドも張る事ができ、性能としては第4世代と同等だろう。

ちなみに巧専用機は

イノベイタ 専用機に関する技術を使い、リボーンズガンダムと同じツインドライブシステムを搭載した、アブラハムガンダム。

アブラハムの理由はリボ・トリ達を作り出したという事でリボンズが勝手に命名。

自分としてはそんな大げさな名前じゃなくとも・・・いいのに。

最近ガンダムの名前の由来を知ったので宗教関係多いなと思つている。

リジェネ専用機は

巧専用機と同じくイノベイタ 専用機系の技術を使い、トライアル

フィールドを搭載した  
シャムガルガンダム。

このガンダムには特殊装備、トライアルファングを搭載している。  
トライアルファングとは、ファングの武装を外しアクウオス装備の  
ようにトライアルフィールドを

拡大させるための装備だ。このシステムが搭載しているので、ヴェー  
ダのバックアップが得られる。

しかしバックアップはハロに任せ本体の戦闘能力向上のためにGN  
アーマーのような支援装備を設計中。

シャムガルの意味は3番目の裁き人。つまりトライアルフィールド  
を搭載した三番目のガンダム  
という意味。

あと2週間で間に合つかな・・・?

現在原作2週間前（後書き）

えへ、巧の専用機、決まりました！

私としてはイオリア計画の中でイノベイター化とは保険と思つてます。全人類をイノベイター化ではなく、全人類が相互理解できるようにする計画だと

思つています。

なのでイノベイター等の脳量子波は便利な能力位だと考えています  
GNタンクについてはリボーンズガンダムオリジンの第三形態として  
出てくるものをMSへの変形機能を抜いたものだと思つてください  
この話の中では「対話」がキーワードになるかもしれません。  
まあ、全人類が相互理解だなんて無理ですので重要キャラは  
イノベイターになるかも（笑）

## 俺がリジエネに遊ばれてる気がするぢゃん

なんか朝起きて隕石の中でマ○ケル踊つてたらわあ、ん、なんで踊つてんのつて？

まあとにかく、リジエネがいきなり、

「巧～今田の10時半に僕のいる大学に来てね～。君の設定は僕の兄で名前はオリゴ・リジエネだから」  
とか言われた。

「何故に？別に俺の存在を知つてている奴でもいるの？つかオリゴつてダサ。」

「原点のラテン語がローマ字読みでオリゴだったから。それよりもちょっと面白い事を見せたくてね」

「ん～了解」  
つて言われて  
行つてみたら……

「…………ようひーじゃ、来て下せつ真にありがとひーじゃこますー。」

「…………」  
大学の敷地の中での出迎え。

「リジエネよ、何をした？？？」

ちなみに

現在の俺の姿は小3。

小学生に大学の研究員？が豪勢な出迎え。

正直いって冷や汗が止まらない。

「ん~ヴォーダの中にあるレベル1の中の一一番ランクが低い情報を提供しただけだよ」

「一様俺らの技術は色々なガンダムの世界の集合体（の予定）だ。未完成でも今の技術だけでも数世代、ヘタすりや数百世代先だって事わすれてるだろ！－（怒）」

「でもだよ、少しくらいこいじゃないか ハツハツハ」

「リジュネってこんな感じだったのかい？（－－）」

「うん、気が付かなかつたのかい？」

「もういい、諦めた（－－）」

「さて、固まるのはやめにして大学内へいこつか」

大学内を研究者に案内されつつリジュネの話を聞く。  
だつて、周りから興味の目で見られてるしこの視線はきつい。  
某うさ耳博士の開発した女性専用最強兵器を偶然機動してしまった  
男子も学園内でこんな視線を送られていたのか。

今の俺はリジュネと話しているから無視できるけどあの男子は術を  
持つてないからなあ・・・

「ちなみに俺は何しに？」

「君には感情をデータにする研究をしてると彼らにはいっておいたよ。僕たちのバックアップ方式の

基礎の基礎を見せたらぜひとも呼んで欲しいってことで来てもらつたのさ^

くよし、お前、帰つたちょっと高町式O・H A・N A・S H Iが必要だなあ（怒）^

くそれは勘弁。で君の設定は私立聖祥大附属小学校の所へデータを集めに行くという設定だよ^

研究者は目的の場所についたらしく、部屋の中に入つていく。

くどいんじ^

くおいおい、原作知識を忘れたのかい？^

くああ、もつどんな事件が起じるのかしか覚えてない。^

くで、三つだけじゃないか！？^

くはつときつ言つてそんだけだよハハハ（笑）^

あ、なんか研究者が機械の説明をしだした。まあ俺は聞いてないけど。

く仕方がないね。後でこれを君の中に取り込んでおいて^

くなにこれ、唯のパソコンじやん^

くただのじやあない、君の前世のネットに繋がるパソコンセー^

「〇〇なんてこいつたい。こんな便利なのが僕に買えるとでも？」ジョン?  
ジョン? 」

「誰がジョンだ（笑）つかジョンって誰？、とまあそこまでにしてこれは偶然できたんだ。量子ワープしようとして見つかりそうになつたから慌てて閉じたらそこにあつたんだ。」

「偶然つて・・・まあ確かに今の俺には便利だなサンキュー。にしても何故小学生のデータ？」

「思春期を迎えてない年齢が多いから実験としてまずは人間の精神でまだ未熟で簡単なデータを集めるとこだ。」

「ふーん了解で何時？」

「明日出発。」

「前から計画してたのか・・・」

「まあ頑張れ。」

「ちなみに何時位からデータを？」

「原作開始の一日前」

「んじゃ今から俺はビーチすんだ？」

「僕の家に帰つておいて。場所は〇〇通りの 番地だから」

解説（次回）

ちなみに後で機械について不満な点がありましたか？と聞かれ解答に困ったのは言つまでもない

## 俺がリジュネに遊ばれてる気がするよ巧（後書き）

ああ、やっと原作に触れることができる。  
さて、ネタバレですが新しい転生者を何人か出そうと思います。  
アイデアが思いついた方はどしどしご送ってきてください。  
作巧リジュ「「「よろしくお願ひします」」」

スガリコモリヘ・タタフ、スガリコモリヘ・タタフ（前輪羽）

これが「ミヅシヘ」すかなあ

S  
I  
D  
E  
巧

家に着いた後俺が行く小学校のことを調べたら原作メンバーが通う  
とことでした。

あれ、なんか自分の中の言葉の進め方が変わっていく…  
リボンズに丸投げしようかな。

だが俺はワーカーホリックではない。面白いことがないと嫌だから

なので現在俺は暇つぶしのためにニコニコ動画で東方および、ボカロをガンガン見てます！

しゃべりにやしぶりのネットだから才でねぐねぐすうそ！

『The Ultimate Collection』が発売される。この世界のマイケルには異次元からのファンとしては未発表の曲も入れてほしいので援助して、イノベイド用のナノマシンも投与したい。

「はいはい、落ち着く落ちつく。それとマイケル関係の話、いつから関わるの？」

「お、リジエネ。お疲れえ、それについては11月位にしようと思つ。」

「あ、そう。それと今日は大半を寝て過ごしたからほとんど何もやつてないよ」

「・・・仕事しない！」

「原作でも僕はあんまし出番なかつたからいいじゃん」

「・・・ホントに仕事無かつたのか。せめてウーダの情報整理はしてたんでしょ」

「そりや出番なぐても仕事はあるよ。例えばスイスになつたり・・・」

「おー、違う番組じゃん！？」

「まあまあ落ち着けよ」

「これが落ち

ピコン

「ん、なんかメールきた。」

「どれどれ。あ、ほんとだ。送信元・・・・・神？！」

「なんて書いてある？」「  
どれどれ・・・・・

ちーす、みんなの恐怖、神だよ。

突然だけどあ、

君にあげた能力のDG細胞、使わないのなら返してよ。  
もつたひないじゃん。

つーか他のガンダムの世界へ行けるんだからいらぬでしょ。

その代わりとしてはなんだけど新しい転生者を君のいる、なのはの

「Pマークの世界へ

送るからいいでしょ。

いいよね、答えは聞いてない！

「…………」

「「無茶苦茶だなあ、おこー。」」

「え～メンズ、Gガンの世界また行くのか」

「その代わりに新しく同類？が増えるんだしあ、面白こいとこなりそうじゃない？」

「たしかに面白かったなあ・・・クフフフフ

「「じやあまづは対策でもしておくか。」」

SHIDE神

おお、超お久しぶりの登場。

今後もくそれはないよ。あまり出でないと前書きでこいつたかな？>

自分で書いたことも忘れたのか・・・

まあそれはいい、じやあ誰をこいつに送りつかな？

じやあこいつで決定！

～巧のときと大して変わりません～

じゃあ、送るよ。

来世はお幸せに～（＾＾）～

さてと、転生者同士の戦いはどうなるのかなあフフフ

### SIDE巧

今パソコンにリボンズ達の訓練が終了との報告が届いたので  
肉体はE.L.Sにするか普通にするか迷っている。

ん～謀反を起きたまらんし、

かと言つて普通にしたら容量の限界が低くなるし。

どうしようかな？

ん～なり、脳だけE.L.Sにしよう。

これなら肉体に能力はさほどないから安心だ。

このE.L.S達には侵食はしないように伝えておけ。

にしても生産予定のガデラーザ、見直してみると防御が低いな。  
いつそのこと設計見直してデビルガンダムみたいに腰から上にMS  
をビームキャノンの付け根から生やしてしまおうかな？・・・無理  
があるな。

ならGNフィールド発生装置を付けるようにすればいいか。  
でもE.L.Sは完全に擬態できないわけではない、それに地球行く前  
に何回か練習したおかげで完全に擬態できるようになつた訳だしな  
あ。努力って大事だね！

よし、これから全部のE.L.Sに擬態するものを完璧に再現できるよ  
うに練習させることにしよう。

これなら見た目でE.L.Sだとわからないし。

にしても原作介入はどうすつかなあ

とりあえず介入予定はA・Sの最後位かな。

無印は転生者利用してアリシア生き返らればいいし。  
頭があまり回らない奴が来ればいいな。

出来るだけ利用して最後に侵食して色々解析すればいいか。

「おのずかにせこにまくらへこだまつりや（漫書也）」

9話田でやつと原作開始。  
まあ基本関わりないいつもつだかど

SHIDEの神はここへこぬよへこたよつです

### SHIDE転生者

いきなり何言つてんのこいつ、なんて思わず聞いてほしい。

俺は死んだ。そしたらさ、青い化け物みたいな神様が「リリなのの世界へ送つてやる。」

だなんていつてきたんだぜ。

楽しみなんだぜ、ハーレムうははしたいんだぜ。

で、「願いをかなえてやる」

なんていつてきた。チートきたああ！

よしならばつて感じで行つたこと全部かなえてもらつた。

ちなみに俺の能力は、

魔力sssオーバー、超イケメン、その世界に関する全知識、俺の知つている一次作品全てのアイテムを何時でも取り出せる様にする、なのは達と同じ小学校で同学年、魅力を常人の10倍

はははは、これで俺はオリ主だ。

これから俺は学校に行かなければならぬ。アリシアも助けて見せるぜ。

これから俺のハーレム構築物語の始まりだ！

### SHIDE巧

いやいや、これからオリゴレジョッタなんだからさあ。  
せめてSHIDEもそりしそりや。

く地の文に突つ込むなよ・・・まあそつちの方がいいか気を取り直して始めようか

そ、そ、そ、う、こ、ち、の、ほ、う、が、い、い、じ、や、ん  
さてと、現在私は海鳴市のマンショニにいます。

最近リボンズ達がヴォーダに所属不明の艦の情報を送つているよう  
です。

何気にヴォーダ＝俺なので詳しく見ていると、次元管理局の艦。ア  
ースラではないようです。

なんで？何のために？ちなみに監視空域に入った映像があるのか。

何々・・あ、不明艦がもう一隻のを攻撃した。あ、なんか攻撃され  
た艦から光が散らばつていく。

・・・・・これってジュエルシード？！

へえ、原作はここから始まつたのか。

何々現在不明艦の乗組員23名を拘束中？！

まさかE-L-Sで包んだのか・・・

明後日からデータ取らなきやいけないし色々準備が必要なのに  
明日の予定がアステロイドベルトで埋まりそつ。

頭痛い・・・ハア（：—）

あ～トップも中間管理も結局下がって上がいる

### SHIDE 巧

現在俺はリジHネお得意の量子ワープでソレスタークリーニングの中にいます。

リボンズから話を聞いてはいるんだけど頭が痛い。

「聞いているのかい？管理局に対抗する手段があつただけでもみつけもんだよ。それにデータだけだつた僕たちの機体が早く建造可能になつたんだしさ。まあ僕のはもう造つたけど。」

「はいはい、聞いてる聞いてる。にしても艦自体は解体して侵食すればいいけど乗組員はどうすんのさ。帰すためには記憶消して、偽の記憶を考えて『えなくけや』いけないのに」

「別に帰すだけが手段じゃない。いつかに引き込めば良い」

「じゃあこの辺りを捜索される。」

「ならこいつのこと脳をE-11に置き換えてしまえば良い。そうすれば有能なスペイの完成だ。」

「確かにこいつから何人か送るよりも楽だな。しかしだ、まずはあいつらにチャンスを『えてみたい』

「へえ、君がそんなことを『つ』とは思いもしなかつたよ。面白そうだね。じゃあこっちに来て」

リボンズに案内されて着いた場所にはあらうじとか男性がいると思

いきや、女性しかいなかつた。

しかし異常だ。全員目が死んでいる。

「これは・・・？」

「乗組員達さ。有能だからと上からの命令で配属され仕事をしていらっしゃい。だが裏の仕事だからという理由で洗脳されてこの有様さ。それにこの女性達は男性よりも身体能力、決断力が高い。その点を上から利用された結果こんな風に廃人同然に成つてしまつたんだよ。」

「あ？あくまでも自分たちの飼いならした手駒を使つてゐるならまだしも上からの命令で？！ふざけるなよ！」

「正義のためにここまでするか！」

「これは人が行うことではない！！」

「リボンズ、君のガンダムを少し借りる。」

「どうするつもりだい？トランザムバーストで彼女達の精神にリンクする。」

「僕たちのGN粒子の色は紫。緑ではないよ。それに疑似太陽炉は太陽炉と似て非なるもの、中身が全然違う。」

「その点では大丈夫だ。自分たちの疑似太陽炉の中にT-Dブランケットを付けて核融合炉をトポロジカルディフェクトに入れ替えたらいい。」

「それつて別もんになるよね最初からそうしあればいいじゃん。」

「ああ、そう。オリジナルがたくさんあつたら俺たちが介入してトランザムする度にイノベイターが生まれてしまつて管理局が悪用するだろ。あくまでも自分たちの目的は人類全体の相互理解が目的だ。

その目的に至るまでの複数の力の一つでも悪用されたらさうに目的達成から遠ざかるからな。だから疑似にした。」

「分かつた。なら早く始めてくれ。さすがにこの僕でもこの光景はクルよ」

「なら中身を入れ替えるぞ。ちなみにリボンズ、君のガンダムは?」

「第一格納庫にあるよ」

「あんがと」

確かイノベイド?生成区画からア・バオア・クーでいうNフィールド側へ行つたところか

ああ、あつた、あつた。

空のケースが何個がある中に一つあつた。

「よし、侵食!」

無論データだけを「ペーし自分の体にダウンロードしていく。データは100%ダウンロードした。なら、

「見せてもらおうか、人類を導こうとしたガンダムの力とやらを」これがリボーンズガンダムか、なら太陽炉にTドブランケットをかけてつと。

「アーヴィング！」

両肘の太陽炉から純粹なGN粒子があふれ出す。彼女達の意思が手に取るようになります。

迷っているのもいれば泣いている者もいる。

さて、対話をしますか。

$\vee \subseteq \neg \oplus \wedge$

くただの人間さ、それよりも君たちはどうしたい？こここの鎖から自由になりたー？

▽▽▽▽▽なりたいわ、でも管理局に帰るなんていふんよー。▽▽▽

「はもつてるね・まあいい、なら僕の組織につかないかい?目的  
は管理【回を賣す】」>

くなら私はそれに乗つた

私毛 < >

卷之三

本居宣長の銅版画の書籍

＜結構大胆ね・・・＞

「それほどでもへ

「あ、この後は現実で話そうかじやあねへ

## あ～ト芝ノも中間管理も結局下がいて上がる（後書き）

本日の収穫

次元管理局の技術、

乗組員約20名

「おい、 本日のとれたて野菜みたいな感じだな」

「似たようなもんじやん？」

「にてねえし」

「にしてもTとオリジナルってどう違うの？」

「オリジナルはGN粒子をトポロジカルディフェクトで発生させ、 TDブランケットで精製する代物だと作者は思っています。しかし疑似太陽炉は電気などのエネルギーをGN粒子に変えてるから発生させる元が全然違う。だからオリジナルとTの粒子は性質は同じだけ純度が違うと思っています。なのでサーシェスはオリジナルのビーム食らつても治りましたが、ルイスはTのビームに撃たれ再生できなくなつてます。つまり、オリジナルの太陽炉に比べ不純物が多く混じるから再生治療の邪魔をする。それが理由です。」

「へ～でもさあ、結局同じ性質だから危険なモノだな。」

「正解！外伝のOOFの過去に出てくる、ブルトーネの惨劇でシャル・アクスティカの傷の原因。つまり一気に大量のGN粒子を浴びることなどの場合はどちらも同じです。」

明日から原作介入！<遅いな>すんません&lt;；m（——）m&gt;；

SIDEオリゴ

え～と彼女達と話しあつた結果、  
管理局にスパイに行くようです。これならこっちに有益だし、彼  
女たちも管理局に一泡吹かせられる  
とのこと。

この会談が終わつてすぐに彼女たちはこちらのスパイとして管理局  
へ向かつていつた。

無論艦内のデータをすべて「コピー」したうえでね。  
余談だけど自分の外見のせいか人形のよう抱きしめられ死ぬかと  
思った。

だつてあの胸の中に押し付けられるつて息できひんわ。でもそれで  
赤くなつているのを体の中のE.L.S達がヒューヒュー言つて恥ず  
かしかつたのは秘密。やっぱこの体つて改善点多くね。  
たとえb

<はいはい、結構結構。>

リジェネか、分かりやしたよ。前世ではこんな事がなかつたんだし  
呟いたつていいじゃん。

くんなことしてないで明日からデータ取るんだからさうかと寝るよ>

最近リジェネの言葉がとげとげしい・・・

<誰のせいかわかつてる？（怒）>

はい、俺のせいです。いつつ脳量子波ダダ漏れですいません。

<わかつたならよろしい。>

しつかしどうすればいいんだ？人間の形したE.L.Sだし。

あ、E.L.Sがビームやフィールド張つたみたいに自分の体を人間そ  
のものにすればいいんだ。あ、でも戻れなくなつたら大変だから骨

はそのままにして重量は体のなかに疑似太陽炉をつけて  
粒子の質量操作能力を使えば・・完成！

にしても管理局と正面衝突するなら負けるかも・・・  
認めたくないけど次元を見るくらいの人数はいるからなあ。  
内部にアロウズ作つてそこにジンクス？を置いて、  
ソレビの量産機はセムを改良したジムを置こう。  
何気にガンダム〇〇にジムがないからどうにかならないかなつて思  
つてたんだよねえ。

まあセムの胸部フェイスを外し〇ガンダムみたいにして手のGNキ  
ヤノン外せば出来上がり。  
それにコンパクトに変形するからジンクスを置くスペースに2機位  
置けると思うし。  
よし、そうしよう。

それと、アロウズとソレビのジャケットの動力が同じに見えないよ  
うにジンクスには背部ユニットを隠すためにスサノオみたいなコン  
デンサーを付ければいいか。

### SIDE転生者

あの神のヤロオ、原作前の土郎さんが入院している時期の後に送り  
やがつた。

これじゃなのはにフラグが建てれないじゃねえか！

まあいい、同じ小学校に入れば俺の魅力で・・・フフフ。  
あ、ちなみに俺の名前は桜宮・和人転生オリ主だぜ！

### SIDE神

やつた、また出番だ 出番だ  
<自重するならOK>  
つてゆう事ででてきたよ～ん

さて、2人が出会うと何が起こるのかなあ楽しみ

明日から原作介入！<遅いな>すんません&lt; ; m( ) m &gt; ; (後書き)

アブラハムガンダム、シャムガルガンダム・・・・全然イメージができない。

なので土曜日か日曜日に〇〇の設定画集を買いますー！

なのはの世界で武力介入、始まくすでにだらりいや、原作介入という意味でだ

SIDEオリゴ

ただ今私は聖祥小学校に向かつて います。  
いや～まさかなのはと同じ小学校になるとは・・・  
あ、そろそろついたようです。

え、歩いてたんじやないのって？

いや、タクシーできました。だつて場所知らないし、わかんない  
し。

まあここに来るのはこれで最後かも。  
また質問？なんで最後かつて？  
なぜなら宿直室に住む予定だから。  
もう時間なんで職員室に行つてきま～す。

SIDEなのは

やつとなのはの出番なの！  
はつ！、今なのはは何を考えていたの？  
まあいいの。  
それよりも今日、なのはのクラスに新しい人がやつてくるらしいの！  
どんな人か楽しみだなあ

SIDE和人

現在俺は教室の中にいる。  
俺は転校という形で学校にいると、思っていたのに神は元々存在し  
たという設定で送りやがった。

「それに原作キャラとは全く関係のクラスに。  
まあいい。これ位の事で慌てたらだめだ。」

それに俺には常人の10倍の魅力という心強い味方があるしな。  
クラスの女子の7割が俺の虜。この調子でフフフ。

SHIDEオリゴ

職員室につきました。

これから担当するクラスがわかります。

問題児がいなきゃいいけど。

「おはよづじやじこます。あの～、私がデーターをとるクラスは何処  
でしようか?」

「「「「「あなたがオリゴさん!？」」」」」

「あ、はい。で、僕がデーターをとるクラスの担任の方は?」

「はい。私です。よろしくお願ひします。」

「いえいえこちらこそ。」

「では行きましょうか」

「年下に敬語を使わなくたって」

「でもこちらからは粗相のないようにと、言われてますので

「仕事なら仕方がないですね。では行きましょうか。」

「此処です。」

着いた。此処が、にしてもこの持つてきたパソコンすげえな。

「これ一台で俺の仕事が全部済む。」

「入れますよ？」

「ああ、わかりました。」

教室の中に入ると驚いた。

まさか原作キャラに関わるとは・・・  
まあここで固まつていたら怪しまれる。

「みなさん、初めまして。オリゴ・レジエッタと申します。今日から半年間皆さんの脳波および、感情に関する科学物質がどの条件の下でどれ位の量が出るか計らせていきます。」

「キヤアアアア！」 やら「恰好いい！」の声やら男子の嫉妬の眼差しがこちらに・・・

「にしてもそんなに恰好いいか？」

「まあイノベイドつて美形だからな」

あ、そう。

まあ大学の時よりましか。

「レジエッタさんは大学の研究で日本に来ています。なるべく邪魔はしないようにね。」

「「「「「「大学！？」」」」」」

「アメリカの学校で進級したから大学にいるよ。」

生徒達何人かは納得した様だ。残りは尊敬と驚きのまなざしで見てくる。

ただ単に、リジエネのつてとヴェーダの知識使つただけだから何も努力なんてして無いんだけどなあ（汗）

「とりあえず授業を始めますよ。リジエネさんの仕事は授業中もあ  
るんですからね。」  
さて、仕事の準備しますか。

なのはの世界で武力介入、始まっていますにどうへいや、原作介入という意味でだ

なのはをうまく書けているか不安。  
アドバイスがある方はどしどし送つてください^ ^ (ーー) ^ ^

一方、リボ・トリ達は（前書き）

ヴェーダをまだ一回も使ってないので出してみます

一方、リボ・トリ達は

SHIDEヴェーダ

現在僕はリボ・トリ達の訓練の設定をしています。

にしても巧。いや、今はオリゴか。

彼にサーチェスとフォンのタッグを相手にさせてと頼まれて作ったのはいいけど・・・いくらなんでもそこまでする?

なんかこのデーターをこれからフォーシェスって呼ぶけどさ、これ使つ前にサーチェスのデーターで躊躇られてるんだけど・・・

「ヒツ、助けてリボンズ」

「「「「「ヒーリング、君の」」とは忘れない」」」」

なんか扱いが可哀想だなヒーリング。まあ遠距離型のガゲッサなのに突っ込む方が悪いか。

にしてもこのデーターの元となつた人間、リボンズはある意味人間の枠を超えているって言つてたけど

これ、ある意味つていう言葉、付かないよね。

足で相手のビームサーベル受けてもう片方の足で切るつて。

それに最終決戦ではビームをバスター・ソードで弾いて片足吹き飛んでも

相手を圧倒できる技量つて何だよ・・・

〇〇の世界に行つたときに行つた今までのE.L.S達の記憶でもこんな

規格外、数える位の数しかいないよ。  
こんな人？、よくリボンズ扱えたなあ。

あ、残り7人の内のトロニーテイニ兄弟はネーナがステルスフィールド張ろうとして瞬殺。

それに激怒したミハエルが特攻、ヨハンが援護に回るや否やGNランチャーの射線上でミハエルとつばせり合い。

つばせり合いの最中に展開していたファングをミハエルがフラッシュにしたように串刺しにし、

太陽炉ごと切つてヨハンの視界を防ぐ。いつたん距離を取ろうとするもバスター・ソードを投げつけられ胴体に貫通。アルケーが近づき引き抜いた瞬間撃破。

その間たつたの1分。

唖然とするリボンズ達がこちらに迫るアルケーを迎撃しようとボンズは変形しようとするも

キヤノンへの変形の最中に大型GNフィンファングを全部切られ爆風で視界が悪い時に頭部切断でコックピットに誘爆。

リヴァイブGNはメガランチャーを撃つたら回避されてランチャーごと真っ二つに・・・ヒーリングのようには成らなかつたけど哀れ・・・

デヴァインはGNフィールドを張つて防御するも実体剣のバスター・ブレードでお陀仏。

アニコーのガツデスはファング射出したら全部避けられ近接で応戦するもその最中に足のビームサーべルで両肩が胴体とおさらば。

「こんなのがイノベーターになつたら計画自体が消えるかもしないなあ。よくこんなのが仲間にいて計画を完遂できたねリボンズ達・・・。

「お、皆お疲れえ（^ ^）～」

「ヴューダア、少しば手加減してくれたりどつだい？（疲）」

「もうよ、もうよ。あんなの勝てる気がしないわよ。（疲）」

「同感ですね。彼に勝てる気がしません。（諦）」

「・・・・・（泣）」デヴァインが固まつてゐる・・・

「なによこれ、仇すら討つ暇ないじゃない！」

「よかないかネーナ、これが今の私たちの実力だ。それに今こうして再開できている訳だ。それだけも十分だ。」

「でも兄貴イ」

「ミハエル、それよりもお前はバスター・ソードの扱いを上手くしろ。ただ単に切りかかつて行くからやられるんだ。それにだ、すぐカツとなつて突貫するし何かあるたびファングを使う。もう少し学習しろ。」

「へいへい。兄貴は真面目だな。」

「シャーネエナ、シャーネエナ！」

「ハロウサーキー！」

今度はフォンの「テーター」で戦わせてみよ。きっと面白いものが見  
れそう（笑）

「…………」「ヴェーダア、チョーシトOHANASHIが必要ダネエ、」「…………」

ハハハツ、なんか皆が怖いなあ。

「マアマア、オ、オ、落ち着けって。話せばわく」

「……………」

その後ヴェーダはフォンとサーシエスに一人で戦わされ手加減する様になつたそうな、ならなかつたそうな。

## 日常の終焉

SHIDEオリゴ

現在4時間目の授業中。

なんでこんなにぶつ飛んでんのと言われたら何の変哲もないものだつたから。

それに授業中は「データーを採り、休み時間は愛想よく質問を受け答えするだけだから。

そんなもん見てて楽しいか？

「メタ発言はあまり言わないで」

「書いてんのはお前だろ。それに今回のは最期まで書いたのにサブタイトル入れ忘れて最初から書く羽目になつたのはお前のせいだ」

「今ここでいつ事じやねえだろ」が！

「まあいい。とにかくうつせこじやあ」

「あ、おこちよてて」

あ～うるさかつた。にしても念話しながらデーターを整理できるつて俺の体つて便利だな。

キーンコーンカーンコーン、キーンコーンカーンコーン

あ、授業終わった。

よし、飯買わないとな。」この小学校に購買部はあるのか・・・ないわな。

普通に食べると余分な質量増えちゃうしね。

にしてもさつき自分の体を便利とか思ったけども、中それだけじゃないな。

それに教育実習生のように一緒に「」飯食べましょうフランクが立つ。もし万が一そのせいで自分の正体がばれたらとんでもないことになる。

なら持つてきて無いから買いに行くと持つて逃げるーよし、これら完璧だな。

お、原作三人組がきた・・・

「あのうオリゴさん、よかつたら一緒に「」飯食べませんか？」

やつぱりな。だが、

「敬語は別にいいよ、同じ年だしね。それとその件だけど今日昼食持ってきて無くて今からカロリーメイト買に行くくんだ。」めんねよし、これで行ける！

「オリゴさん、いつもそんなの食べてたんですね？私たちのお母さんが作ったお弁当と一緒に食べればいいじゃないですか。」

すずか君、いい子だなあ。でもそれを言つとは思わなかつた・・・

「すずかさん達の為にお母さんが作ったものだしそれは流石に悪い

よ

これならこけぬー

にしても男子たちの視線が怖い。

なんか、『羨ましい事されていいなあ、でもそれを断りひとつするなら俺に変われ！それとも俺達へのあてつけかなんかか！、こんちきしうう！…』みたいな感じだ。

これが聖祥三大美女の力か。

確かにその気持ちはわかるけどさあ。俺だって断る理由があんだよ。

「大丈夫よ、それにむしろ食べさせた方がお母さんはきっと喜ぶわよ。自分の料理の感想が聞けるんだしね。というわけでいいでしょ！」

うん、アリサ。君には負けたよ。いい子が多いなあ（泣）

という訳で連行されてしまいました屋上。

ベンチに右からすずか、アリサ、俺、なのはの順で座っている。これは完全に逃げられないな。

で流石にあーんをするのは精神年齢的にハズいので割り箸で頂こうと思つていた時、

「ねえねえ君達、そんなのより僕と一緒に食べないかい？僕の方が絶対面白いよ。」

・・・・・誰？原作でこんな居たつけて？にしても初対面なのに失礼だな。

「いきなり何よ、それに失礼じゃない。初対面の人に。謝りなさいよー！」

お、アリサ言うねえ。

「いきなりなんだい、もついいよー！」

ここまでは別に俺は無視していたがこいつが小さい声で言った言葉が俺に気を引かせた。

「」こんな奴原作にいたか？？（小西二郎）「あ、」いつもが転生者か。なのはが知らないことすると接点は無いな。にしても転生者ならもう少し精神年齢高いだろ。今の発言で見るとなのはよりも低くね？」

まあハーレムだの、一对多数だの考えてそりだな。

そして原作直しく未来の職業の会話へ「おこおこ、どうもせこままで。」

「「あ、はこ（・・・）」」

「今回せどりもじつあ。なのは、」

「ふえええ！」

「落ち着け、なのはは謙遜し過ぎ。むしろせりつての態度をとるヒトリサみみたいに嫉妬を招く。」

「はー（・・・）」

「アリサ、君は急ぎすぎ。今の君が全てじゃないだろ。これからどんどん伸びていくんだから焦らず今は学力をつけておけば将来やりたい仕事が見つかったときに出来るでしょ。」

「はこ（・・・）」

「こじても二人とも、時計見てる？」

「え、・・・あー授業に遅れちゃう。」

「はいはこ、急いで急いで。あと十分だよ。」

「なんで早くに行つてくれないのよ。」

「だつて会話の最中だつたし・・」

と言つてつたのは達は教室へ向かつていつた。  
そしてそんな感じで授業はすべて終わり、皆下校した。

さてとそろそろ帰るか。

宿直室が在るかどうかわからぬにし、マンションの掃除しなきゃな。

と思つて職員室へ

「お先に上がらせていただきます。」

「　　おつかれさそか?」

次の日

今日がついになのはが魔法と関わる日だ。その時は〇ガンダムデーターを探らないとね。

やつぱり一番最初の介入は〇ガンダムじゃないとね。それにリボンズが見た神を見るかのような日、ぜひとも見てみたい。まあGNフエザー使つと色々ばれそつだから無理だな〇「

まあ仕方がない。その替わりにしつかり原作出発点を見るために準備をしつかりしないとな。

そして今日は4時間目が終わると同時に教室から出て職員室へ向かう。

データーを整理していくとでもばれないだろつ。 よもや新兵器のチックをしていくとは思つま。

昼休みが終わるころに教室へ帰ると日の前にアリサが立つ。

「なんで今日いなかつたの？」

「データーを整理していくね、今日は「めんね。」

「な、なら仕方がないわね。許してあげるから、か、か、か、感謝しなさいよ。」

・・・シンテレ? なんわけないなあつたとしてもネギまのタカミチみたいなもんだろ。

とまあそんな感じで今日は特にすることができないので下校時刻とともに

に帰る。

「あ、オリゴ君、一緒に帰るわよ。」

「いいよ、僕はこれから駅前通りの方にあるマンションだけ君達は？」

「方向が一緒だね。」

「せうだねえ。せういやなのはは？」

「私はもう少し先かな。駅前通りに翠屋つて言つ喫茶店がお父さんとお母さんが働いてるの。とっても美味しいんだよ。」

「確かにまた食べに行きたいね」

「そんなに美味しいんだ。今度行つてみようかな。」

「うん、楽しみにしてるのー。」

「あ、いいだよ。じゃあね。」

「うん。また明日。」「」

さてと、最上階の自分の部屋に着いたところで今夜が始まりかなにも介入がなればいいけど。

## 天使降臨（前書き）

転生者の名前をすっかり忘れてた・・・

## 天使降臨

SIDE和人

なんなんだあいつは。

原作にはあんなのいなかつたな。

別の転生者か、まあいい。

俺には常人の10倍の魅力がある。それがあるから絶対なのは達は落とせるな。

さて、これからなのはを助けて格好良いところ見せてやる！

SIDEオリゴ

今夜から始まるのか。

初めに使うなら〇ガンダムだな。

でも第一世代だからもし、いや絶対に転生者が介入してくるから改良しておかなければ。

まあ改良点としてはこんなもんか

- ・コーン型スラスターを最新のやつ（〇〇のやつ）に変換、その上に爪状の安全装置つぽいものを付ける
- ・内蔵機器を最新型に取り替え（コンデンサー、センサーなど）
- ・ビームガンにセンサー、取り外し可能コンデンサー（Eバックみたいなもの）を追加し粒子収束率を高めビームライフルに改造
- ・ビームサーベルを二基に追加
- ・ガンダムシールドのフィールド発生器を最新型に替え、余りのスペースにコンデンサー追加そして上から装甲を被せる。
- ・GNバルカンを頭部に組み込む
- ・管理局の次元航行艦から得た非殺傷設定を全武装に組み込む

かなり魔改造したなあ

「これなら普通に第3・5世代って名乗つてもいい位のスペックだな。この改良で得られたデータおよび組み込んだ機能を全ガンダムに追加する事を後でヴェーダに推奨しておこう。」

さて改良したOガンダムのお披露目だ。

屋上に向かう。

「GNドライブブリポーズ解除、・・・行けるっ！」

キイイイイイイイ

GNドライブが粒子を発生させる。

「高ノ富巧、Oガンダム、出撃するー。」

SIDEなのは

アリサちゃんにメールを送信したらいきなり頭に毎間の時の声が聞こえてきた。

それで着替えてこつそりフレットの所に行つたら黒いもじやもじやが居たの！

「は、あれはー！」

「何々、一体何！？」

「来て、くれたの？」

「喋った！？」

黒いもじやもじやが「こつちを見てこりのーーに、逃げなきや！」

「その、何が何だかよく分かんないんだけど一体なんなの？何が起きてるの？」

「君には資質がある。お願い、僕に力を少し貸して？」

「資質？」

私は逃げながら聞く。

「僕はある探し物の為にここではない世界から来ました。」

「でも、僕一人の力では思いを遂げられないかも知れない。だから、迷惑だと分かってはいるんですが、資質を持った人に協力して欲しくて‥。」

「お礼はします！必ずします！僕の持ってる力があなたに使ってほしいんです。」

「僕の力を、魔法の力を！」

「魔法‥？」

後ろで音がして振り返つたらさつきのもじやもじやが！  
ドオオオオオン！

「お礼は必ずしますから！」

「お礼とかそんな場合じゃないでしょ、どうすればいいの？‥」

「これを‥」

ユーノ君が赤いルビーみたいなビー玉を出してきた。綺麗‥  
「暖かい‥」

「それを手に、目を閉じて、心を澄ませて、僕の言つとおりに繰り

返して。」

「いい?、いくよー」

「我、使命を受けし者なり」

「我、使命を受けし者なり」

「契約の元、その力を解き放て」

「えつと、契約の元、その力を解き放て」

「風は空に、星は天に」

「風は空に、星は天に」

「そして、不屈の心は」  
「そして、不屈の心は」

「「」の胸に！」

「「」の手に魔法を、レイジングハート、セット、アップー！」

「スタンバイレディ、セットアップ！」

SIDEオリゴ

「何処だ、何処にいる。高町なのは。（リボンズ風）」

いきなり町の中心に近い位置で光があ、あれば！光が天に昇つて行く！

「そこか、にしてもGNフェザーよりも派手だな。これでは僕の役割がないよ。GNフェザー！」

自分を中心に紫の翼が広がっていくのが海面に映し出されている・・

リボンズ、確かにこれは神にでもなつた様な気持ちだよ。

「フフフフ、さて、今は電波障害が起きて自分は記録に残らない。向かうとしますか。」

近づいていくと分かつた。

あれが魔法か・・

SIDE和人

なのはが襲われたな。

そろそろ助ける・・・なんだあれば！

SIDE市民達

いきなり電話が切れた、あつちの部屋ではテレビが映らなかつた、いやこのマンション自体の電波がおかしい。全員が電気屋に行こうとして目を疑つた。

空にある白い点から光る紫色の翼が生えている。

「綺麗・・・」

「・・・なにが起つてるんだ！」

「カメラで撮らなきや・・・映らない！」

「おい、あれ、近づいて来てないか！？」

「人の男がそういつた。確かに近づいてくる！  
腰が竦んで動けない。もう何が何だかさっぱりだ  
白い点がハツキリと見えてくる・・・あれば人だ！！」

「天使・・」

「人がそういつた。現代に天使・・科学技術の時代でか、面白いな。

SIDEユーノ

なんなんだあれば。  
禍々しくも氣高い様な。

！？

「なのは、氣を付けて、來たよーー！」

「・・・・ふえ！？」

間に合わない！！

ピシイイン、ピシイイン！

何！？

ピンク色の閃光が化け物を貫いた。  
上を見るとそこには翼の主がいた・・・

## お久しぶりですーー（前書き）

やつとかけた。

「パソコンの付箋に書いてたら流石にこいつなるわ。早く感覚戻せよ。

」  
げ、厳しい意見。

はい、頑張らせて頂きます。

お久しぶりです！！

16 wa

SIE なのば

綺麗な翼が空に生えただと思つたら目の前の思念体が翼の人は専たれた。

角ばった輪郭、目はセンサーみたい。

頭には一対の角。人にアンテナ  
あ、ジつかこ飛ぼうとしている。

「待つてください！」

SIDI オリジナル

目の前は未知のモルガニティの反應

大人には成りたくないね、目の前のことを恐怖するだけなら子供の方が憂れていいかも。

はしても非殺傷設定での戦力も殺傷設定なら間違なく絶命してしまうな。

一九四五年五月

「待つてください！」

えと、もう帰りたいんですけど・・

「有り難うございました。」

え  
そんたに?!

絶対あなたは誰見たいなこと聞くと思ってたのに予想外だな。

じゃ、  
帰りますか。

ついでにコーヒー買いに行こう。出撃する前に何も飲んでなかつたし。

SIDEのは・ユーノ

一帰<sup>ニ</sup>て行<sup>ニ</sup>たね

ああああそこだね……なのは、思念体を封印しなきや！

「あ、忘れてた。封印つけてどうするの？」

「封印するのは恥まわしき器、ジュエルシードー。」

「リリカルマジカル、ジュエルシードシリアル？？？、封印！」

九

「これがジユエルシードです。それをレイジングハートで触れて、レイジングハートを近づけるとジユエルシードが先端の赤い玉に吸い込まれていった。

ああ、・・・

た。

あれ、終わったの？？

バタツ

「ちょっと大丈夫? ねえ」

二  
八

「もしかしたら私、ここにいると、大変アレなのでは・・・と、とりあえず「めんなさーいー。」

結局一回も介入できなかつた。

・・・・次にあるのは、なのはとフュイトが会う時か。  
その時から第三勢力いや、第四勢力として介入しようつ。

SIDEオリジ

さてと、何処かに降りれる場所無いかな？

流石に街中じや目立ちすぎるし臨海部辺りか。

着いた着いた、工場の裏側に行つて解除つと。

「あ～緊張したあ。なんせ初介入だしなあ。これから準備しなくち  
ゃいけないな、忙しくなるぞ。」

にしても自販機は？自販機、自販機。

お、あつた。やっぱBOSSESのブラックだな。  
ん、隠せて無いつて？

いやいや、〇と〇は別もんだよ？！なんの支障もないよ。  
ああ、やっぱ美味いわ。そろそろ帰りますか。

今後の予定について色々考えなくちゃなんないし。

蛙が鳴くからか～える。

なんも鳴いてないけど。

お久しぶりですーー（後書き）

シャムガルガンダム、構想すら思いつかない・・・・  
機体のギミックや特徴についてアイデアや意見がある方はドシドシ  
送ってきて下さい。お願いします^ ^ (ーー) ^ ^

アブラハムガンダムですが、年末に出せるかもしません。  
何個か案があり検討中なのであと少しか・・・・も?

## 変わる日常

SHIDEオリゴ

「技術部からの報告です。ご覧になりますか？ゾノゾ」

「誰の声かつて？パソコンをギレンの〇望みみたいにしたんだよ。ゾにしてつと、えーと何々。

技術部からの報告によると、MS・MAに魔法技術を搭載することがヴェーダ達の会議により決定。

○ガンダムから得られたデータにより実用化の日途が付いたのと。その結果太陽炉から発生させられるランクを測定した結果、Sランクに相当する。

数分前にデータ送ったのに仕事が早いな。

太陽炉の件に加え、GNタンクは設計を改修され、GNキャノンに変形する機構を組み込まれた。

イメージとしてはリボーンズガンダムオリジンからガンダム形態を取り外した様なものになった。

よかつたねGNタンク、ようやく使われるよ。

にしても生産予定の機数を考えると管理局との戦闘は躊躇いしかならないな。

管理局には一度自分たちに買つてもうつと醜くなつてもうわないと困る。

管理局には戦力を強化してもらわなければ。これじゃあソレビには一生勝てない。

送り込むならあまりこちら側の技術が使われてないアロウズだな。もともとが独立治安維持部隊だし暗部の彼女たちによると、管理局は管理世界を拡大し過ぎたせいでミッドでの犯罪にてこずっている

らしい。こちらとしては自由に動きたいので最高評議会のよつな強力な後ろ盾が欲しい。まあこれは彼女たちに調べてもらおう。

気になるのはまだ行動を起こしてない転生者か。

神に何らかの能力はもらっている筈。 いまだに相手のカードが見えないなら戦うのは良策だはないな。

一度接触する必要がある。 グラーベを作つて送り込むか。

マイコ については6月辺りに接触しよう。

優先事項が山程残っているからね。

とにかくもう寝よう。 明日だ、 明日。

全ては明日

SIDE和人

なんとかしないと俺の立場がない。

常人の10倍の魅力も原作メンバーには効かないしこのスキル、よく見てみると周りの奴らの目が一種類に分かれていることで分かった。

上手いこと話しかけると恋愛系の効果ができるか、カリスマ性になるかランダムになっている。

うまく使えないなこのスキルは。 ランダムじゃあ使い勝手が悪い。 使えるとしたら二次元のアイテムを取り出す位だな今の現状では。 体内にある魔力も使い方が分からぬし、この世界に関する知識の中にはさつきの白いヤツの情報はなかつた。

まあでもそれ以外は分かるからそこそこ使えるくらいだな。  
一度接觸する必要があるな。 これは。

## 変わる日常（後書き）

ガンダムAGEの最後に艦長がじいの正体をつかんだそうです。  
まじで？！（ ）

## 第三勢力との折衝（前書き）

いや～最近ジンクス？のバスター・ソードをプラス板とかで作ろうとしてるんですが難しいですね。

## 第二勢力との折衝

S H D E オリゴ

「んん、んんんんんんんんんんんんあああ。ああ～よく寝た。」

おはよう、ワンドア、モニングショット！

朝からコーヒーのCMとは君はカフェイン中毒かい？

くお、リジュネお早う。はつきり言つてそうかもしないなあ。コーヒー飲んだら結構動搖しても落ち着くし。

く体のスペア、造ろうか？

くいや、コーヒーがもつと美味く感じる気がするからいい。

くあ、そう。それと武力介入用の機体、第二世代機も追加することが決定したんで。

くそう、で？

くまあ君にはアブルホールの改良案を出してもらいたいんだけど。

く俺は技術屋じゃねえぞ。それは奴さん達に頼めばいいことじやん。

く彼らから見て君のアイティアは面白いらしい、協力してやつてくれ。

くへいへい、わーったよ。あ、それとまあ、医療面の技術をある程度公開して会社創つてくんない？

くなんで？

くマイケルの資金援助の為にね。

く確かにソニー戦争の真つ最中だったね。それで新曲が発表できなかつたとか

くそそうソニーの奴らめ、めにもの見せてやるわ！

くはいはい、解つたから切るね。

くえ、あ、ちょっと？！

く・・・脳量子波切られた。

仕方がない、リジュネには実際に会つたとき存分に語つてあげなく

ちち。

さて、データの収集のために行きますか。

「おはようさん～」  
「「「あ、おはよう～」「「  
「今日も元氣で宜しい！」  
「なんか一気に老けたわねアンタ。」  
「老けた？！、そうか、アリサから見て僕は老人か。じゃあそろそろ隠居するか・・・  
「何しょげてんのよ、シャキッとしなさい、シャキッヒー！」  
「まあまあ、アリサちゃん。落ち着いて。」  
「なんか何時もと違う気がするよ？」  
「なのは？！、すずか？！わ、私はいつもと変わらないわよ？！  
「落ち着けってアリサ、熱でもあるのかい？」  
「そそ、そんなわけないでしょ？！」  
「お～い、アリサ、大丈夫か？（ちょっと思考読んでみるか）」  
何々、俺を見て慌てるのか？まさか恋愛感情なわけないよ・・・  
前よりもなんか、進んでるう！？（聖徳太子風）  
原因は・・・憧れねえ・・・まあ駄目な一面見せたら收まるでしょ。  
「にしても昨日は大変だったよ、いきなりパソコンが使えなくなつたと思つて修理に出そうと外に出たらオーロラがあつてさあ。あ自分が起こしたんだけど（ま

「あ、それ、私も見た！！」  
「僕も！！」  
「私も！！」  
「え、全員見たんだ！（やつぱりね）」  
「そういうのは、昨夜のオーロラとは別の話、聞いた？」  
「ふえ、別の話つて？」

「昨日行った病院に車の事故が何があったらしくて、壁が壊れちゃったんだって・・・」

「あのフェレットが無事か心配で・・・」

「フェレットか・・・誰か飼つてんの?」

「そうじゃなくて、道で拾つたの。怪我した状態で転がつていて・・・」

「へえ、すずかが第一発見者か。」

「いや、見つけたのはなのはちゃんと。」

「考えてみるに病院に運んだ次の日にそこで事故つた後が見つかつた、という訳だね。大丈夫かな?」

「あ、えーと、その件はね。」

「お~い、授業始まんぞ~」

「え!、じゃあ後でね」

「「うんわかった。」

SIDEなのは

「そつか、無事でなのはん家にいるんだ。」

「でもすごい偶然だつたねえ。たまたま逃げ出してたあの子と道でばつたり出会うなんて。」

「「ねえ！！」

「あ、あはははは。はははは、ははは、はは（嘘はついてない、嘘はついてない、ちょっと、ちょっとと真実をばかして言つてるだけ。）」

「「んん？」」

「えつと、それでね、なんだかあの子、飼いフェレットじゃないみたいで自分の間家で預かることにしたんだ。」

「そ、うなんだ！」

「じゃあ名前付けないとね。もう決めてる？」

「うん、ユーノ君って名前。」

「ユーノ君？」

「そ、ユーノ君」

「へえ」

SIDEオリゴ

一時間目が終わつたな。

なのは達はこつちに目が行つてない。今がチャンス！  
パソコンを起動し学校の管理システムに侵入、監視カメラの動画をこつちにも流す！

お、いたいた。この前の転生者。

クラスは隣のところか。同時に名簿から同じ人物を探し出す。  
こいつか。名前は桜宮和人ねえ。帰りに待ち伏せるか。  
つう訳でキングクリムゾン！！

なのは達は帰つた、さて、和人君は何処にいるのか・・・  
膨大な魔力を大体の転生者は欲しがるからサーチすればちょろいち  
ょろい！屋上か。

カツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツカツ

カツカツカツカツカツカツカツ着いた。

「桜宮和人君だね。」

「こっちに注意を引き付けられたな。上手くやるしかない。」

「お前は？！、前に会ったな。」

「そうだね、転生者君。」

「？！お前も転生者か。」

「ビンゴ！…もし間違つてたらどうしようつと思つてたんだよなあ～傍から見ればそんなこと言つてる奴はキチガイと思われるからな。」

「そうさ。僕た」

「四の五の言つより今つぶした方が早そうだな。」

？！和人は構えてない。…こいつ、手練れか？

「まあ落ち着けよ、君は原作メンバー達は欲しいかい？」

「俺への自慢かあ？おい！！」

「いいや、そうじやない。僕にとつてそれは眼中に無い。」

「何をしようとしてるんだ？」

「今はまだ話せないね。完全に信用したわけじやない。もしよかつたらこっちの仲間になつてほしい。」

「仲間になれと…」

「そつ。しかし条件がある。君の能力の利用を許可すること、僕達に協力すること、こちらの人員には手を出さないこと。ただそれだけだ。それさえ守れば後は好きにして構わない。」

「その話、乗つた。それと達つてどういうことだ。」

「何人か集まつて行動してるのさ。全員僕が強化してる。（ヴェー  
ダが強化してるけど）」

「了解。話は変わるが昨日の光、お前の仕業か？」

「そうや。僕の住所を教えておくよ。丁目の　にあるマンシ  
ヨンの502号室今度組織に来てほしい。君の能力を把握しておき  
たい。」

「わかつた。今度何時会うんだ？」

「第三話の巨木事件の解決後辺りで。」

「了解。よろしく頼むぜ。」

「このままよろしく頼む。」

「んじゃ もう帰るんでさこなら~」

「おこ、 せつあまでの雰囲気はどうに行つたんだよ。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8288w/>

---

なのはの世界で武力介入

2011年11月12日21時15分発行